

としょかんだより



なつやす ほん
・・・夏休みおすすめの本・・・



令 和4年7月15日(金)
久山町立久原小学校図書館
文責 学校司書 横山 柳子

ねんせい ねんせい かだいとしょ
1年生・2年生の課題図書

もうすぐ夏休みです。あっというまに1学期も終わりですね。みなさんは、学期のはじめ
たてた目標冊数の本を読むことができましたか？
1学期がおわる前にめあてを確認して、達成できたかどうか、ふり返ってみてくださいね。



しよめい 書名 つくしちゃんとおねえちゃん itou mikuru 作
あたま がよくて、ものしりで、ピアノも上手だけど少し怒りっぽ
くて、いばりんぼう。そんな自慢のお姉ちゃんは、歩くとき、少
し右足をひきずります。揺れ動く姉妹の気持ちが、鮮やかに細や
かにつづられた日常の物語。



しよめい 書名 ばあばにえがおをとどけてあげる コーリン・ヴェリス 作
よろこびって？「ひとのこころをしあわせにして、めをかが
やかせるものよ」「ばあばはワアーイ！ってしたいんだ」。元気が
ないばあばによるこびを取り戻そうと、ファーンは「ワアー
イ！」を探しに出かけます。「よろこび」の意味を教えてくれる
おばあちゃんと孫娘の物語。



しよめい 書名 すうがくでせかいをみるの ミゲル・タンコ 作
せかい をみる方法は、いくつもある。数学が大好きな主人公の
「すき」の気持ちがあふれる絵本。本に出てくる「形」や「数」
をさがしてみましよう。身近な場所に「数学」がかくれている
よ！



しよめい 書名 おすしやさんにいらっしやい！ おかだ だいすけ 作
キンメダイ、アナゴ、イカなど、釣り上げた魚をさばいて切
り身にする様子を、お寿司屋さんが子どもたちに見せてくれる
写真絵本。最後は美味しそうなお寿司に！「命をもらって生き
ている自分を大切に」とメッセージを贈ります。魚の特徴や
部位の名前も解説。

● 夏休みの本を選ぼう
夏休みは、朝の10時までは、お家で過ごすきまりになっています。その時間は、宿題や
読書の時間にしてみてはどうでしょう。
夏休み前の本の貸出は、全学年7月14日(木)15日(金)にします。ひとり6冊まで借りるこ
ができます。長い夏休みです。いつもよりも長い物語や、いままで読んだことのない種類の
本などに、ぜひ挑戦してみてください。

● 青少年読書感想文全国コンクールについて
1・2年生は、原稿用紙 本文 800字で4枚以内
3・4年生は、原稿用紙 本文1200字で6枚以内
5・6年生は、原稿用紙 本文1200字で6枚以内
課題図書は、うらの面に示しています。
また、自由に選んだ本、今まで読んだ本を読み直すこともいいと思います。
ぜひ、一度、挑戦してください。

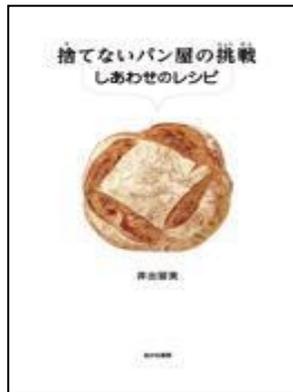




ねんせい ねんせい かだいとしよ
3年生・4年生の課題図書



書名 **みんなのたためいき図鑑** 村上 しいこ 作
授業参観日で発表するため、たのちんの班はどんな時にヒトがたためいきをつくのかわ調べて「たためいき図鑑」をつくることに。保健室登校の加世さんもいっしょに図鑑をつくれないかと、たのちんがある提案をしたら、班のメンバーともめてしまい・・・もうたためいきばかり！家族や友達との関係にゆれる気持ちを、鮮やかに描いた物語。



ねんせい ねんせい かだいとしよ
5年生・6年生の課題図書

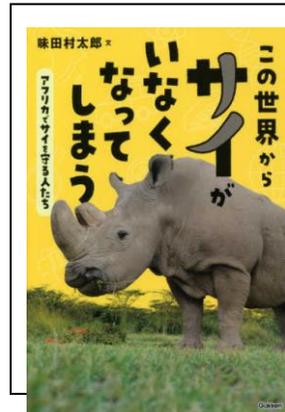
書名 **捨てないパン屋の挑戦 しゃあわせのレシピ** 井出 留美 作
捨てないパン屋として評価される田村氏の人と思想を、食品ロスの特権家として数多くの受賞を誇り、食品ロス削減推進法成立の原動力となった井手氏が活写する。モンゴル滞在、ヨーロッパへの修行の旅など、美しい自然風景と感動的なエピソードを交えながら、捨てないパン屋になるまでの葛藤を通じて、自然への深い愛情と、食品ロスなき未来への希望を描いたノンフィクション。



書名 **チョコレートタッチ** パトリック・スピン・キャリング 作
ごはんやおかずを残しておかしばかり食べてしまう、おかしが大好きなジョン。なかでもチョコレートには目がありません。ある日、ひろったコインで買ったチョコレートを食べたところ、ふしぎなことがおこりはじめて・・・。



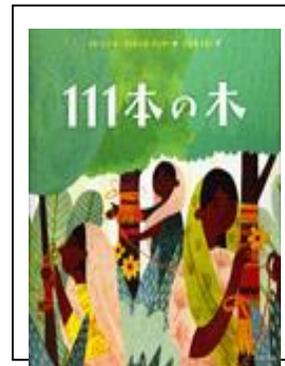
書名 **風の神送れよ** 熊谷 千世子 作
優斗たちが暮らす地区では、無形文化財「コト八日行事」が子どもたちの手にまかされる。コロナ禍で行事の開催自体があやぶまれるなか、優斗と仲間たちは家々から疫病神を払い、地区境まで送ることができるのか？困難に立ち向かう子どもたちの姿を鮮やかに描く。



書名 **この世界からサイがいなくなってしまう** 味田村 太郎 作
サイと密猟者、そしてサイを守る人たちの知られざる戦いがある。密猟でサイが激減するなかでの「サイの孤児院」や科学技術による「復活プロジェクト」などの取り組みを紹介。南アフリカ共和国での現地取材を行った記者による、迫真のノンフィクション。



書名 **りんごの木を植えて** 大谷 美和子 作
みずほは小学5年生。大好きな祖父にがんの再発。でも積極的な治療は行わないという。なぜ？大好きな絵を描き、庭仕事をして伸びやかに暮らす祖父を見つめるみずほは・・・。「人間が生きること」「死ぬということ」を考えるみずほの物語。



書名 **111本の木** リナ・シン 作
女の子一人=111本の木。インドのある村では、女の子の誕生を111本の木を植えてお祝いします。ジェンダ一平等を提言するこのエコロジー活動で、村は豊かな自然を取り戻しました。女の子に学ぶ機会を与え、男女が平等にあつかわれるために行動した、ある村長を描く実話。



書名 **ぼくの弱虫をなおすには K・L ゴーイング 作**
ぼくが一番こわいのは、進級していやな上級生と同じ校舎になること。ぼくと親友のフリータは夏休みのあいだ、ぼくの弱虫をなおす作戦にとりくむことにした。ところがぼくの思いつきがフリータの家族を巻き込んで・・・。偏見や人権差別の問題に触れながら、苦手を克服する子どもたちの成長を描く。